

横浜市民防災センターへ校外学習に行きました

令和6年7月12日（金曜日）は新栄分教室の『みどり防災デー』でした。

雨が降っていたので、予定していたグラウンドへの避難訓練はできませんでしたが、事前に担当の先生方が撮影した避難経路ビデオを見て、安全なルートを確認しました。

午後から全学年で横浜市民防災センターへ行き、防災の体験学習をしました。

横浜市が大震災に見舞われたらどうなるか映像を見たり、地震シミュレーターで震度7の揺れを体感したり、台所の火災映像に向かって消火器で消火したり、減災シミュレーターでは、自分でよいと思う行動をしてみて、それがよい選択だったかどうか学びました。煙が充満した部屋を、ハンカチで口や鼻を押さえて通った後、煙のにおいを尋ねられたので答えたら、「それが分かったということは、煙を吸ってしまったということです。」と教わって、みんなでびっくりしました。

自助、共助、公助

中でも一番大切なのは、自分の身を自分で守る「自助」であることを繰り返し教えていただきました。

今回の体験学習を通して、いつ来るかわからない災害に備える大切さを教員も生徒も強く感じました。

